

令和2年度第1回狛江市市民活動支援センター運営委員会 議事録

- 1 日時 令和2年7月29日(水) 10:30~11:45
- 2 場所 狛江市役所 防災センター302・303 会議室
- 3 出席者
委員 : 伊藤輝芳 伊藤聡子 上田英司 内海貴美 小川三男
梶川朋 佐藤新哉 清水信之 松村正俊 三島瑞子
三角佐智子 長尾眞木 古川裕朗
事務局 : 小楠寿和 大山寛人 斉藤あや子 高橋善治
(50音順 敬称略)
- 4 委任状 委員 青木香奈
- 5 欠席 委員 進藤実
- 5 傍聴者 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として傍聴は中止。
- 6 議題
 - (1) 正副委員長の選出について
 - ①自己紹介(運営委員)
 - ②正副委員長の選出
 - (2) 市民活動支援センターからのお知らせ
 - ①市民活動支援センターの現状について
 - ②市民活動支援センターの今後の運営について
 - ③令和3年度事業計画作成に伴う意見について
 - (3) その他
 - ①次回の会議日程について
- 7 配布資料
[資料1] 狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書
[資料2] 令和3年度狛江市市民活動支援センター事業計画(案)
- 8 会議概要
 - (1) 開会
 - ①事務局長あいさつ
狛江市社会福祉協議会・小楠寿和事務局長より小川啓二特命職員が市民活動支援センターのCSR活動推進担当として令和2年4月1日付で狛江市社会福祉協議会から配属されたことが紹介された。
 - ②前期運営委員会委員長あいさつ
三島瑞子前期委員長よりあいさつがされた。
 - (2) 議題
 - ①正副委員長の選出

各委員からの自己紹介後、委員より委員長に上田英司委員、副委員長に伊藤輝芳委員、内海貴美委員を推薦する意見が出された。

全委員より賛同の意見があり、推薦内容が承認された。

②市民活動支援センターからのお知らせ

ア 市民活動支援センターの現状について

令和2年4月1日から6月30日までの報告を事務局より行った。

イ 市民活動支援センターの今後の運営について

今後の予定として夏体験ボランティアの実施中止、主催事業については感染状況を見極めながら再開の準備している状況を報告した。新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施が難しい状況で当初の計画通り事業実施が出来ていないことを事務局より報告した。

また、令和2年度事業計画にある検討チームへの運営委員の協力、ホームページへの活動場所情報の掲載にあたってのアイデアを運営委員に求めた。感染状況に応じて運営委員会の開催についても正副委員長と協議していくことを報告した。

ウ 令和3年度事業計画の作成について

令和3年度事業計画の重点事業、事業内容についての骨子について事務局より説明した。あわせて、計画作成、予算積算のスケジュールについて説明した。

(委員)

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、人と人が会ってコミュニケーションをとるような活動が出来なくなってきた。今まで出来ていた活動が出来なくなった団体がやっというところを支援するという視点が支援センターには必要である。今までの計画が役に立たない状況であると考えてもよいのではないか。今の新型コロナウイルスの状況で市民活動は何が出来て、何を支援していいのかという視点で次年度計画を作してほしい。

(委員)

新型コロナウイルスが広まる中、多くの団体が活動を休止したり、工夫をして再開したりしている。東京ボランティア・市民活動センターでアンケートを取った結果が出ている。狛江でも再開できているグループがどれぐらいあって、再開できていないグループがどれぐらいあるか課題やニーズを整理

しても良いのではないか。

(委 員)

東京ボランティア・市民活動センターのアンケートでは、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を休止している団体、団体継続を目指して活動している団体など団体ごとの取り組みの方向性が出ている。

財源的な厳しい状況にある団体も多くあり、団体活動の継続に向けての助成などの支援が行われている状況である。

(委 員 長)

コロナの時代であるので、会議もオンラインでの会議実施などを含め、新しい時代の取り組みをセンターだけでなく運営委員もチャレンジしていく必要がある。支援センターとしても運営委員会の開催にあたっては、感染予防に配慮した方式を検討していただきたい。

次回、運営委員会の開催時期については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、正副委員長と協議の上、決定することを報告した。

以上